

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

＜学校教育目標＞ かしこく なかよく たくましく かがやく子の育成

＜学校経営方針＞ 『3つのG (Grit・Global・Growth)』の推進

＜経営の重点＞

○確かな学力をはぐくみ、個性を生かす教育の推進

・児童の意欲を高め、学力を付ける「よい授業」の推進

・さいたま市「アクティブ・ラーニング」型授業の推進

・朝学習や「グローバル・スタディ」の充実

・個に応じた指導の推進

・学習規律の定着

・「さいたま市小・中一貫教育」の推進

＜本年度の学力向上策＞

1 授業力向上を目指した校内研修の充実

＜研究主題＞主体的・対話的に学ぶ授業の実践を通して、より深く考え、思いを表現する太陽の子の育成

・「アクティブ・ラーニング」型の授業を推進するとともに、一人1回は研究授業等を行い、指導主事等から指導を受ける。

※年間一人1回以上の研究授業等の実施

・サンサuntime（朝学習）を充実させ、国語、算数の基礎基本の定着を図る。

2 全国学力・学習状況調査と市学習状況調査とのS-PDCAサイクルの実現

・全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、学力向上への取組を構築し、実践する。

※学校の勉強によく取り組む児童 90%以上

・少人数指導やTT、SAを活用した、個に応じた学習指導を推進する。

※学習した内容を理解している児童・学校の勉強がわかる児童 90%以上

3 家庭・地域と連携した学習環境の整備

・保護者・地域の方に授業への協力を呼びかけ、学習活動を充実させる。

・「HIGASHIスタンダード」の活用を行う。

＜本年度の振り返り＞

○学校課題研修を中心に、「アクティブ・ラーニング」型の授業の実践に取り組んだ。その際、「お互いに授業を参観する機会を設け、その授業について協議することで、個々の授業力向上を図った。

○全国や市の学習状況調査の結果を分析し、日々の授業に生かすようにした。

○サンサuntime（朝学習）を実施し、内容についても充実させた。

○上記の取組の結果、「学習した内容がわかる。」（児童）、「子どもは、学習した内容を理解している。」（保護者）と肯定的な回答をした割合が90%を超え、「令和元年度さいたま市学習状況調査」においても、全ての学年、教科で良好な結果を修めた。

○保護者や地域の方との連携を今後も大切にし、学習環境の整備をより一層推進させる。